

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月28日更新

事務事業名	学校給食運営事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3 教育の健康	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	右田 純司
	施策	9 義務教育の充実	所属課	学校教育課	担当者名	花田 秀樹・前田 美和
	施策の柱	35 食育の推進	所属班	学校給食班	(内線)	096-248-2102
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令
	一般	10	6	3	10683	学校給食法
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	給食センターの施設・設備・配送車等のメンテナンス、調理に必要な消耗品の購入、光熱水費の支払い、非常勤調理員の雇用及び健康管理等を適切に行い、合志小、合志南小、南ヶ丘小、合志中の児童生徒、約3,000人に栄養バランスのとれた、温かい給食を約193回提供した。
【業務の流れ】	毎月(8月除く)の給食委員会において、4校の給食担当職員・PTA役員と各月の献立の検討を行い、年2回(夏休み及び年度末)の給食センター運営委員会においては給食費執行状況の監査等を行う。調理体制については正規職員5人、非常勤職員約25人で約3,000食の調理を行う。
【主な予算費目】	報酬 光熱水費 消耗品費 役務費
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	児童・生徒の心身の健全な発達に資するとともに、食育を推進するために安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食の提供を行った。	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食が提供できるよう、施設設備の維持管理や衛生管理、調理職員の健康管理等を適切に行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア: 機械修繕件数		一部食器の更新年度となるため消耗品費等が増額した
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	児童・生徒・職員	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 人
		→ ア: 児童・生徒・職員数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安全で衛生的な給食を食べることが出来る	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 件
		→ ア: 調理に支障をきたした件数
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
バランスのとれた食事がとれている		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度実績(決算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	31年度予定	32年度見込	33年度見込	
① 活動指標	ア	件	4	9	10	7	10	10	10	10	
	イ										
② 対象指標	ア	人	2,864	2,957	3,070	3,005	3,100	3,180	3,250	2,434	
	イ										
③ 成果指標	ア	件	0	0	0	0	0	0	0	0	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	2,256	2,304	2,175	2,290	2,175	2,175	2,175	
		繰入金	千円								
	人件費	(A) 事業費計	千円	83,410	85,010	90,514	83,650	98,321	116,373	117,000	110,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	13	7	7	7
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	13	7	7	7
		正規職員従事人数	人	8	8	7	7	7	7	7	7
		延べ業務時間	時間	15,000	13,100	14,000	13,570	14,000	14,000	14,000	14,000
(B) 人件費計	千円	55,695	0	55,776	53,682	55,776	55,776	55,776	55,776		
トータルコスト(A)+(B)	千円	141,361	87,314	148,465	139,622	156,272	174,324	174,951	167,951		

事務事業名	学校給食運営事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	----------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 安全安心な給食を提供するために、着実に維持管理を行っている。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 現状を維持する
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 民間業者に委託するデリバリー方式の給食は「冷たくて美味しくない」、「異物混入が多い」等の意見があり課題がある。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 維持管理上適切である。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 維持管理上適切である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 保護者には食材費のみを負担していただいている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 正規調理員退職者不補充の市の方針により将来的に調理・配送業務の民間委託が必要になる。

3 評価結果の総括 (CHECK)

安心安全な給食の提供がスムーズにできるように、施設設備や厨房機器の維持管理を確実に行った。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						